

京都大学人文科学研究所国際研究ミーティング実施報告書

1. 国際研究ミーティングの名称
近現代中國的多層結構分析

2. 主宰責任者氏名
木越 義則(名古屋大学大学院経済学研究科・准教授)

3. 開催日時等およびプログラム(講演者名または報告者名を明記してください)

①日時:2019年3月15日 9:00~17:30

場所:国立政治大学歴史系(台湾・台北市)中央研究院近代史研究所(台湾・台北市)
档案館第二會議室

1.演題等:論"四大文明"說的起源

講演者または報告者:石川禎浩(人文科学研究所・教授)

2.演題等:晚清思想界的「另類自我東方化」

講演者または報告者:楊瑞松(国立政治大学歴史学系)

3.演題等:晚清時期子口貿易的功能

講演者または報告者:村上衛(人文科学研究所・准教授)

4.演題等:輪船用煤與十九世紀東亞

講演者または報告者:朱瑪瓏(中央研究院近代史研究所)

5.演題等:移民、語言、戰爭:二戰中的臺灣人通譯

講演者または報告者:藍適齊(国立政治大学)

6.演題等:現代新儒家與民主憲政

講演者または報告者:薛化元

7.演題等:台灣史學文本一步一步走向沒有光的世界

講演者または報告者:彭明輝

8.演題等:全球化與東亞貿易體系的蛻變

講演者または報告者:岩井茂樹(人文科学研究所・教授)

9.演題等:從初級產品出口看中國近代市場轉型- 貿易條件指數, 市場區域, 工業化

講演者または報告者:木越義則(名古屋大学・准教授)

10.演題等:一九三〇年代兩個貨幣圈與亞洲金融秩序:以上海與孟買之短期資金動向為中心的比較觀察(1930-1939)

講演者または報告者:李宇平(中央研究院近代史研究所)

②日時:2019年3月16日 9:00~12:00

場所:国立政治大学歴史系(台湾・台北市)中央研究院近代史研究所(台湾・台北市)
档案館第二會議室

1.演題等:二十世紀中國華北農村基層領導特質的演變

講演者または報告者:陳耀煌

2.演題等:農復會及相關人員的中國農村復興工作

講演者または報告者:黃仁姿

3.演題等:蔣介石的奉化人際網絡—以「奉化三先生」為例

講演者または報告者:劉維開

4.演題等:對華二十一條要求的再檢討:1915-1923

講演者または報告者:川島真

5.演題等:青年與中共政治教育

講演者または報告者:汪正晟

4. 概要(400字程度)

京都大学人文科学研究所、中央研究院近代史研究所(台湾)、国立政治大学歴史系(台湾)の三機関が共催で開催する中国近現代史の研究成果を総合的に公表・討論を行う国際会議に参加した。

2019年3月14日 国立政治大学歴史系を訪問。歴史系教員の楊瑞松、藍適齋、彭明輝氏と情報交流を行った。

2019年3月15～16日 中央研究院近代史研究所で開催された国際会議に報告者として参加。「従初級産品出口看中国近代市場転型」と題する研究報告を行うとともに、2日間にわたり台湾における中国近現代史研究の成果の情報収集を行った。

5. 参加者(別紙「参加状況」も記載してください。)

①学外

木越義則(名古屋大学・准教授)、楊瑞松(国立政治大学歴史学系)、朱瑪瓏(中央研究院近代史研究所)、藍適齋(国立政治大学)、薛化元、彭明輝、李宇平(中央研究院近代史研究所)、呂妙芬、林滿紅

学内

所内

石川禎浩、岩井茂樹、村上衛

②学外

陳耀煌、黃仁姿、劉維開、川島真、汪正晟、李達嘉

学内

所内

石川禎浩、岩井茂樹、村上衛

6.助成金の使途等

国際会議に出席するための旅費。

交通費:航空券(関空ー台北往復)41,600円、鉄道(京都ー関空)4,800円。

滞在日当(ただし宿泊費は中央研究院近代史研究所より支出)25,000円。

7.その他(成果や今後の展開等、自由に記載してください)

日本語で書いている成果を、外国の研究者に知ってもらえる貴重な機会であると感じた。今回の研究交流を通じて、研究ネットワークが広がり、より多くの情報を収集できる基盤につながる可能性があると思う。